世　界　史　B

（解答番号 1 ～ 33 ）

第１問　世界史上の女性の権力者について述べた次の文章**A**・**B**を読み，後の問い（**問１～６**）に答えよ。（配点　18）

A　あるゼミで，大学生がヨーロッパの女性の活躍について発表している。

中　井：ヨーロッパでは主に 16 世紀以降，各国で女性君主が登場しますが，名誉革命を通じて夫と共同で王位に就いたイギリスの［ ア ］もその一人です。そこで私は，この時期のヨーロッパを女性が活躍した社会だと考えました。

横　山：待ってください。女性君主がいても，それが受け入れられていたとは限りません。例えば，ⓐオーストリア継承戦争があり，その後に七年戦争が起こっています。

中　井：でも，国によっては，女性に即位する権利があったことは確かです。

横　山：即位する権利があれば，その社会で女性が活躍しているという見方も検討が必要だと思います。

教　授：面白い論点が出てきましたね。では，女性の立場と権利との関係について，もう少し議論してみましょうか。

中　井：女性君主以外の事例としては，フランス革命初期に女性が活躍したと聞いたことがあります。なんだか，16 世紀以降のヨーロッパで一般の女性がどう生きていたのか，興味が湧いてきました。

横　山：しかし，一般の女性について調べるのは難しくはありませんか。

教　授：ではまず，16 世紀以降に活躍した，君主でもその配偶者でもない女性の名前を，高校世界史の教科書などから調べてみてください。一般の女性について調べるのは難しくても，著名な女性について知ることができるでしょう。せっかくなので，ここまでに挙がった点に注意しながら，もう一度，発表してみてください。

中　井：分かりました。それでは次回，これまでの議論やアドバイスに従って，女性の活躍の事例を発表してみたいと思います。

問 1　文章中の空欄［ ア ］の人物の治世に起こった出来事について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 1 ］

① ロンドンで，万国博覧会が開かれた。
② ホイッグ党のウォルポールが，首相に任命された。
③ フェリペ 2 世との結婚で，カトリックの復活が図られた。
④ 「権利の章典」が制定(承認)された。

問 2　下線部ⓐに関連する出来事について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 2 ］

① オーストリア継承戦争の結果，ユトレヒト条約が結ばれた。
② プロイセンが，七年戦争でスペインの支援を受けた。
③ オーストリアとフランスとの同盟の締結は，外交革命と呼ばれた。
④ マリ＝アントワネットが，フリードリヒ 2 世の王妃となった。

問 3　ゼミでの議論を踏まえ，中井さんは後日，ゼミでもう一度発表した。前の文章を参考にしつつ，中井さんが選んだ題材として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 3 ］

① 戴冠式でナポレオンに冠を授けられた皇后ジョゼフィーヌ
② 『アンクル＝トムの小屋』を著し，奴隷制を擁護したストウ
③ スパルタクス団を指導したローザ＝ルクセンブルク
④ オルレアンを解放したジャンヌ＝ダルク

世界史B

B　中国の西安周辺を観光している菅原さんが，現地のガイドと会話をしている。

ガイド：ここは華清池（かせいち）と言い，古くから知られている温泉保養地です。［ イ ］と，その寵愛（ちょうあい）を受けていた楊貴妃がたびたび訪れたことでも有名です。

菅　原：楊貴妃については，その一族が［ イ ］の晩年に政治の実権を握ったことを世界史の授業で学びました。

ガイド：世界史における有名な女性という点では，ⓑ西太后も清の同治帝時代以降に実権を握りましたね。実は彼女もかつてここに滞在したことがあるのですよ。

菅　原：そうですか。なぜ彼女は西安に来たのですか。

ガイド：外国との戦争の際に，一時的に西安に逃れたのです。およそ1年半後に首都に戻り，その後も以前と同様，1908年に亡くなるまで朝廷で実権を握り続けました。なお，その時期は，清朝において光緒新政と呼ばれる改革が実施された時期と重なります。

菅　原：西太后というと保守的なイメージを持っていたので，意外です。おや，あの建物には銃弾の跡がありますね。

ガイド：はい。1935年に中国共産党によってⓒある宣言が出されましたが，その後［ ウ ］の率いる部隊があの建物を襲い，そこに滞在していた蔣介石を捕らえました。銃弾の跡はその時のものです。

菅　原：共産党と国民党が接近するきっかけになったあの事件の舞台は，まさにここだったのですね。

問 4　文章中の空欄［ イ ］の人物の治世に中国で起こった出来事について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 4 ］

① 府兵制に代わって募兵制が採用された。
② 塩の密売人の黄巣が反乱を起こした。
③ 焚書・坑儒が行われた。
④ 新法党と旧法党との対立が起こった。

問 5　下線部ⓑに関連して，西太后が実権を持ち始めて以降の時期に清朝が行った事柄について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 5

① キャフタ条約を結んだ。
② 憲法大綱を発布した。
③ 軍機処を設置した。
④ 関税自主権の回復に成功した。

問 6　文章中の空欄 ウ に入れる人物の名**あ・い**と，下線部Ⓒの内容の一部を示す資料**X**・**Y**との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。（引用文には，省略したり，改めたりしたところがある。） 6

ウ に入れる人物の名

あ　張作霖　　**い**　張学良

下線部Ⓒの内容の一部を示す資料

X

> 中国人民政治協商会議の第１回全体会議は自らの任務を成功裏に完了した。今回の会議には民主党派（諸党派）なども参加し，全国人民の大団結を表現した。

Y

> 一切の国力（人力，物力，財力，武力など）を集中させて抗日救国の神聖な事業のために奮闘できるように，まずは内戦を停止させなければならない。

① **あ**―**X**　　② **あ**―**Y**
③ **い**―**X**　　④ **い**―**Y**

世界史B

第 2 問　世界史上の諸地域における，君主を中心とする秩序のあり方について述べた次の文章**A**～**C**を読み，後の問い(**問 1** ～ **9**)に答えよ。(配点　28)

A　ⓐハンガリー王国の王冠は 13 世紀以降，「聖イシュトヴァーンの王冠」と呼ばれるようになり，ⓑ代々の国王に継承されてきた。16 世紀には，オスマン帝国との戦争でハンガリー王が戦死したため，王の義理の兄に当たるハプスブルク家の人物が国王に即位した。しかし，その後，ハプスブルク家は，国のあり方をめぐり，貴族と度々対立することとなる。ハンガリーの王位の継承には，貴族など国内の有力者層が集まる議会の承認が必要であったため，ハプスブルク家は妥協することもあった。例えば，18 世紀に，男子の継承者が見込めない状況で，マリア＝テレジアがハンガリー王に即位することができたのは，貴族に対して譲歩したからである。彼女の息子である［ ア ］も，統治に当たって，貴族の激しい抵抗に直面することとなった。

問 1　下線部ⓐの歴史について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 7 ］

① 1848 年革命の際に，コシューシコの指導の下で独立政府が樹立された。
② 第一次世界大戦の講和条約として，ヌイイ条約が結ばれた。
③ ミュンヘン会談の結果，ズデーテン地方がドイツに割譲された。
④ 冷戦期に，ナジ＝イムレ(ナジ)の政権がソ連軍によって打倒された。

問 2　下線部ⓑに関連して，ヨーロッパにおける君主について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 8

① ルイ＝ナポレオンが，国民投票（人民投票）によって，フランス皇帝となった。

② カール＝マルテルの子であるピピンが，メロヴィング朝を開いた。

③ 神聖ローマ皇帝カール 4 世が金印勅書を発し，皇帝選挙の手続きを廃止した。

④ ザクセン選帝侯が，プロイセン＝フランス戦争（普仏戦争）によって成立したドイツ帝国の皇帝位を兼ねた。

問 3　前の文章から読み取れる内容**あ**・**い**と，空欄 ア に入れる人物について述べた文**X**・**Y**との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 9

文章から読み取れる内容

あ　18 世紀に「聖イシュトヴァーンの王冠」を女性が継承することがあった。

い　ハプスブルク家は，13 世紀に「聖イシュトヴァーンの王冠」を継承した。

空欄 ア に入れる人物について述べた文

X　この人物は，宗教寛容令を発した。

Y　この人物は，フランス王フランソワ 1 世と対立した。

① **あ** ― **X**　　② **あ** ― **Y**

③ **い** ― **X**　　④ **い** ― **Y**

B　ヒンドゥー教徒の王家が君臨したヴィジャヤナガル王国は，近隣の王国を従属させて広い地域を支配した。また，主にⓒインド洋の海路を通じて，他地域のムスリム君主やその支配下の社会と活発に交流した。ティムール朝の創始者の子で，ウルグ＝ベクの父であるシャー＝ルフが派遣した使節を，ヴィジャヤナガル王が都に迎え入れたことはよく知られている。

鄭和の遠征を経て交易拠点として発展した東南アジアの［ イ ］では，君主がイスラーム教に改宗したが，ヴィジャヤナガル王が改宗したことは確認できない。それでもヴィジャヤナガル王国では，ⓓイクター制に類似した制度が施行されたり，西アジアの衣服を模倣した装束が王国支配層の間で着用されたりした。歴代の王たちは，ムスリム中心の地域から文化や制度を選択的に取り入れ，独自のやり方で用いる方針を採っていたのである。

君主の称号には，君主の事績や政治的な方針，姿勢などが反映されている。ヴィジャヤナガル王の称号の一つに「ヒンドゥー王たちの中のスルタン」と訳せるものがある。上記のような方針を踏まえると，この称号はヴィジャヤナガル王が，［ ウ ］と推測できる。

問 4　下線部ⓒに関連して，次の文**あ・い**は，インド洋の海路を用いた人の移動や交流に関する事柄である。前の文章で言及されている**シャー＝ルフによる使節派遣**を含めて，これらが年代の古いものから順に正しく配列されているものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［ 10 ］

あ　ヴァスコ＝ダ＝ガマが，カリカットに到達した。

い　チョーラ朝が，東南アジアに遠征した。

① **あ → い → シャー＝ルフによる使節派遣**
② **あ → シャー＝ルフによる使節派遣 → い**
③ **い → あ → シャー＝ルフによる使節派遣**
④ **い → シャー＝ルフによる使節派遣 → あ**
⑤ **シャー＝ルフによる使節派遣 → あ → い**
⑥ **シャー＝ルフによる使節派遣 → い → あ**

問 5　文章中の空欄［ イ ］に入れる王朝または国の名**う・え**と，下線部ⓓに関する説明として最も適当な文**X**・**Y**との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 11 ］

［ イ ］に入れる王朝または国の名

う　パガン朝

え　マラッカ王国

下線部ⓓに関する説明

X　軍人に対して一定地域の徴税権を与える。

Y　奴隷を用いて大規模な農場経営を行う。

① **う** ― **X**　　② **う** ― **Y**

③ **え** ― **X**　　④ **え** ― **Y**

問 6　文章中の空欄［ ウ ］に入れる語句として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 12 ］

① 最後のデリー＝スルタン朝を滅ぼしたことを記念し，それを誇るためのもの

② インドの諸王の中での卓越した地位を，ムスリム君主の称号を利用して表現したもの

③ 交流があったバグダードのアッバース朝君主から与えられたもの

④ ヒンドゥー教の権威を借りて，王権を強化しようとするもの

C　次の**資料**は，1439年にシャルル7世によって出された王令の一部である。（引用文には，省略したり，改めたりしたところがある。）

資　料

国王は，全ての者に対して，大逆罪をもって以下のことを禁じる。すなわち，国王の許可，同意，王令ではなかったり，国王の開封勅書によるのでなければ，いかなる身分の者であれ，何人（なんぴと）も騎兵，弓兵，その他の兵士の部隊を敢えて召集，指揮，統率したり，迎え入れたりしてはならない。同様に，国王によって選任されたいずれかの隊長の下でなければ，そして彼に命じられた人数内でなければ，何人も武装したり，いずれかの隊長などの部隊に加わってはならない。

同じく，国王は次のことを禁じる。以後，いかなる身分，資格，条件の者であっても，たとえ国王によって彼に与えられたり，割り当てられたり，また国王が彼に負った負債のためであっても，国王の保護税と御用金の金銭を徴収，押収，保有してはならない。また，国王から与えられた権限や許可もなく，自分の所領に保護税を課してはならない。

この王令は，［　エ　］のさなかに出された。戦いの初期はイングランド軍が優勢であったが，最終的にはイングランド王の大陸所領はカレーのみとなる。この戦いを経験するなかで，フランスでは，国王と貴族との力関係に変化が生じた。王令では，軍事とそれを支える財政について取り扱われているが，この王令が出された後，シャルル7世は軍事改革を進め，それが<u>ⓔフランスでの絶対王政（絶対主義）</u>を支える組織の発展につながっていくことになる。

問 7　文章中の空欄［ エ ］の戦争がフランスとイングランドとの間で起こった原因について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 13 ］

① フランス東部にあったイングランド王家の所領をめぐって，両国は対立した。
② 毛織物の産地であるフランドル地方において，両国の利害が対立した。
③ ヴァロワ朝の断絶に伴い，イングランド王がフランス王位の継承を主張した。
④ 両国が掲げる重商主義政策が，争いのきっかけとなった。

問 8　下線部ⓔの体制下で即位した国王たちの治世に起こった出来事について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 14 ］

① トゥール・ポワティエ間の戦いが行われた。
② フランス王が，第 3 回十字軍に参加した。
③ フランスが，三十年戦争に介入した。
④ 総裁政府が倒れ，統領政府が建てられた。

問 9　前の文章を参考にしつつ，**資料**から読み取れる内容**あ・い**と，この**資料**の内容を受けて起こった出来事**X・Y**との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 15

資料から読み取れる内容

あ　国王によって選ばれた隊長の下でのみ，兵士は武装することができる。

い　諸侯は，自らの領土で自由に保護税を徴収することができる。

資料の内容を受けて起こった出来事

X　常備軍が創設された。

Y　初めて三部会(全国三部会)が招集された。

① **あ** ― **X**
② **あ** ― **Y**
③ **い** ― **X**
④ **い** ― **Y**

世界史B

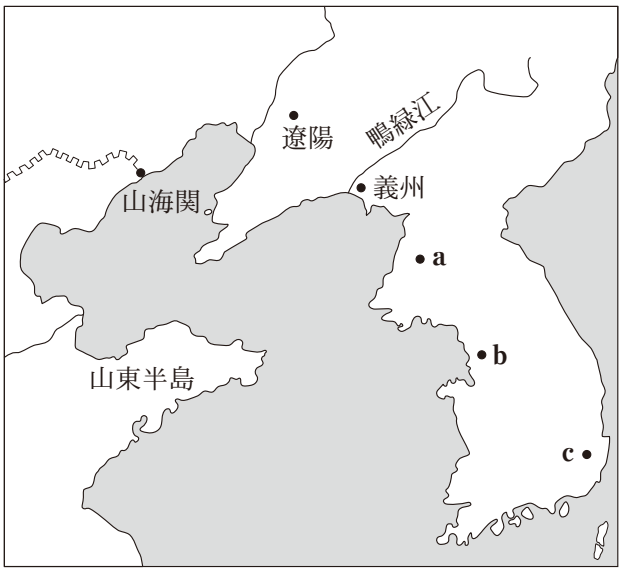
第 3 問　古来，人は果敢に移動することによって，互いに影響を与え合い，歴史が展開されてきた。そうした人の移動の歴史について述べた次の文章**A**・**B**を読み，後の問い(**問 1 ～ 6**)に答えよ。(配点　18)

A　朝鮮王朝は，明に対して，1 年に 3 回の定期的な朝貢使節を派遣するとともに，その他にも様々な名目で頻繁に使節を派遣した。その使節派遣の頻度は，ⓐ明の朝貢国の中でも群を抜いていたが，その理由の一つとして，朝鮮王朝の使節が陸路のみで明の都までたどり着くことができたことが挙げられる。朝鮮王朝の使節は，通例，自国の都を出発した後，鴨緑江を越え，遼陽を通り，山海関を抜け，明の都に至った。

しかし，1621 年，後に清と国号を改めた［　ア　］という国によって遼陽が占領されたため，翌年，賀登極使(注)に任じられた呉允謙は，自国の都を出発した後，鴨緑江を越えず，海路を使って山東半島に至り，そこから陸路で明の都を目指した。これ以後，海路を利用した朝鮮王朝の明への使節派遣は，1636 年まで続けられた。

(注)　賀登極使―新たな皇帝の即位(登極)を祝賀するための使節。

図



問 1　文章中の空欄［ ア ］の国の歴史について述べた文として，最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 16 ］

① ヌルハチによって建てられた。
② 骨品制という身分制度を敷いた。
③ パスパ文字(パクパ文字)を作った。
④ 渤海を滅ぼした。

問 2　下線部ⓐの歴史について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 17 ］

① 琉球が，日本の薩摩藩の侵攻を受けた。
② シャイレンドラ朝が，ボロブドゥール寺院を建てた。
③ コンバウン朝が，イギリスとの戦争で滅亡した。
④ ベトナムの黎朝が，儒学を禁じた。

問 3　**図**中に示した，賀登極使呉允謙の出発地の都市の位置 **a** ～ **c** と，その目的地の都市の歴史について述べた文**あ・い**との組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［ 18 ］

目的地の都市の歴史について述べた文

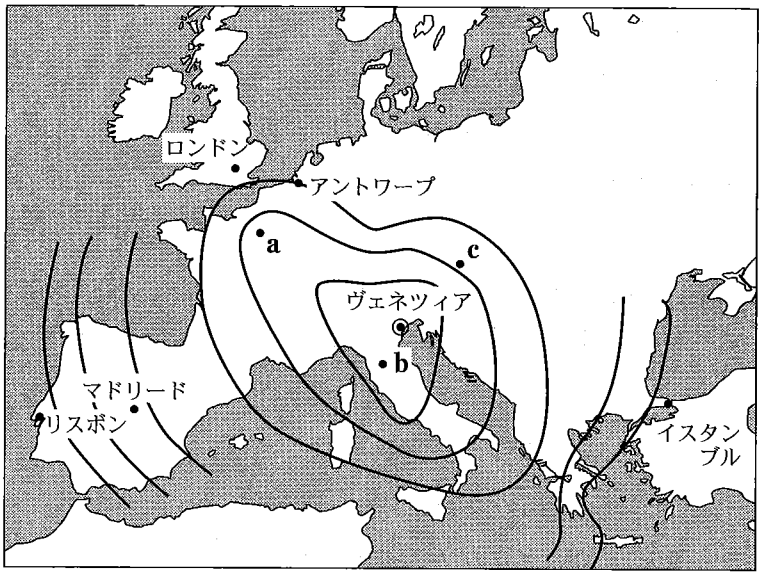
あ　太平天国の都が置かれた。
い　元の都が置かれた。

① **a** ― **あ**　② **a** ― **い**　③ **b** ― **あ**
④ **b** ― **い**　⑤ **c** ― **あ**　⑥ **c** ― **い**

世界史B

B　あるクラスで，次の**図**を用いて世界史の授業が行われている。

図



（フェルナン＝ブローデル（濱名優美訳）『地中海』より作成）

先　生：歴史家ブローデルは，国境によって分断されがちな各国史や，キリスト教対イスラーム教といった対立軸よりも，地理的環境を共有する「地中海世界」というまとまりを重視し，国を越える人やモノ，情報の流れの重要性を強調しました。実際，海と陸を通じて頻繁に書簡がやり取りされ，様々な情報が伝達されていました。

林　：以前の授業では，ⓑ北イタリアの諸都市の商人が，それぞれの都市を拠点に広く活動し，またムスリム商人も，地中海を含め，広範囲に活躍していたことを学びました。

先　生：そうでしたね。ブローデルは，彼の著書『地中海』で，北イタリアの都市の一つであるヴェネツィアを取り上げています。**図**を見てください。ⓒこの**図**は，15世紀末から16世紀前半までの時期を扱ったもので，**図**にある実線は，この時期に，各地からヴェネツィアに送られた書簡が，到着するまでに要した平均期間の1週間ごとの広がりを表したものです。

林　：**図**の右隅に「イスタンブル」と記されていますが，この時代，イスタンブルからヴェネツィアまでの所要期間は，平均で5週間余りというわけですね。それにしても，遠方のイスタンブルからヴェネツィアに，書簡が頻繁に送られていたのですか。

先　生：はい。実は，**図**に示された時代の「地中海世界」の多くの部分は，オスマン帝国によって支配されていました。そのような事情もあり，オスマン帝国の都であったイスタンブルにもヴェネツィアの領事が常駐し，頻繁に報告書を送っていたのです。

林　：ヴェネツィアとオスマン帝国との間にはそのような交流があったのですか。両国はある程度共存していたのですね。ただ授業では，この時代にオスマン帝国とヨーロッパ諸国との間で，覇権を争う戦いが行われ，時にヨーロッパ諸国が勝利したこともあったと学びました。

先　生：そうですね。例えば，ブローデルも『地中海』の後半部分において大きく取り上げている［ イ ］の海戦は，スペインとヴェネツィアなどからなるヨーロッパ諸国の連合艦隊がオスマン帝国の艦隊を打ち破った戦いとして知られています。［ ウ ］。

問 4　下線部ⓑについて述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 19 ］

① イタリアの諸都市は，東方貿易によって主に木材などの生活必需品を取引した。

② 第4回十字軍は，ジェノヴァ商人の要求により，コンスタンティノープルを攻撃した。

③ ザンベジ川流域のトンブクトゥは，交易都市として繁栄した。

④ アフリカ東岸のマリンディやザンジバルは，ムスリム商人によるインド洋交易の拠点となっていた。

問 5　下線部Ⓒに関連して，**図**で扱った時期において，**図**中の **a** ～ **c** のいずれかの都市で起こった出来事**あ・い**と，**図**から読み取れる，その都市からヴェネツィアに送られる書簡の到着に要する平均期間**V** ～ **X** との組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 20

起こった出来事

あ　『君主論』を著したマキャヴェリが，メディチ家の拠点であるこの都市を中心に活躍した。

い　この都市の支配者であったユーグ＝カペーが，王朝を開いた。

到着に要する平均期間

V　1 週間未満　　**W**　1 週間以上 2 週間未満　　**X**　2 週間以上

①　**あ** ― **V**　　②　**あ** ― **W**　　③　**あ** ― **X**
④　**い** ― **V**　　⑤　**い** ― **W**　　⑥　**い** ― **X**

問 6　文章中の空欄 イ に入れる語**う**～**お**と，空欄 ウ に入れる文**Y**・**Z** との組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 21

イ に入れる語

う　アクティウム　　**え**　プレヴェザ　　**お**　レパント

ウ に入れる文

Y　そして，この戦いの結果として，ヨーロッパ諸国は地中海全域における制海権を完全に手中にすることになったのです

Z　ただし，この戦いの結果とは関係なく，この後もしばらくはヨーロッパ諸国とオスマン帝国との力関係に大きな変化はありませんでした

①　**う** ― **Y**　　②　**う** ― **Z**　　③　**え** ― **Y**
④　**え** ― **Z**　　⑤　**お** ― **Y**　　⑥　**お** ― **Z**

第 4 問　歴史を学ぶ際には，資料の内容だけでなく，作成者(書き手)が生きた時代やその立場も考慮する必要がある。そうした視点に立った次の文章**A**・**B**を読み，後の問い(**問 1** ～ **6**)に答えよ。(配点　18)

A　次の**資料**は，後のインド総督カーゾンの著作(1889 年)の一部である。(引用文には，省略したり，改めたりしたところがある。)

資　料

> アフガニスタンが，「東洋」の他の部分と同じくⓐ「ロシアのくびき」を欲していることを，ロシア人の側では，傲慢な自己満足とともに確信している。アフガン人は，自身の独立と部族組織の保持を自分たちの目的としているため，現在の状況はさておいても，二大帝国から得られる利益の違いはほとんどないと考えている。しかしながら，ロシアの進出が併合そのものを意味するのに対して，イギリスはアフガンの自由に干渉しようと望んでいないことをはっきり示してきたので，イギリスにとっての明白な強みがある。

19 世紀のグレートゲームと呼ばれる大国の覇権争いのなかで，インドから北上するイギリスと，南下して中央アジアへの支配を進めるロシアとは，アフガニスタンをめぐって対抗していた。この**資料**は，14 世紀にロシアが［　**ア**　］に支配されていた歴史を揶揄(やゆ)しつつ，1886 年前後の状況を示していると考えられる。この時アフガニスタンはイギリスの保護国となっていたが，ロシアも引き続き介入を模索し，両国の緊張関係は東アジアにも及んでいった。なお，**資料**がイギリス本位の記述になっていることには注意を要する。例えば**資料**中の「ロシアの進出」について，ロシアが実際にアフガニスタンを併合しようとしていたとは考えにくいが，イギリス側が過度に警戒していたことがうかがえる。当事者であるアフガニスタン，またイギリスと対抗するロシアの立場からは，同じ出来事について異なった解釈があり得ることに留意しなければならない。

世界史B

問 1　下線部ⓐについて，著者はなぜロシアの歴史を踏まえたこの表現を用いたのか。その背景を説明する文章中の空欄［ア］に入れる語**あ・い**と，著者がこの表現を用いた意図として考えられる事柄**X・Y**との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［22］

［ア］に入れる語

あ　ノルマン人

い　モンゴル

意図として考えられる事柄

X　ロシアの一方的なアフガニスタン進出政策について批判的に述べるため

Y　ロシアの一方的なアフガニスタン進出政策を容認するため

① **あ** ― **X**

② **あ** ― **Y**

③ **い** ― **X**

④ **い** ― **Y**

問 2　前の文章に見られる，イギリスのロシアに対する態度の背景になったと考えられる19世紀の出来事について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［23］

① ロシアが，日本に遼東半島返還を求めた。

② ロシアが，コーカンド＝ハン国を併合した。

③ ロシアが，バルト海に進出し新首都を建設した。

④ ロシアが，クリミア半島をオスマン帝国から奪った。

問 3　アフガニスタンの歴史について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 24

① ガズナ朝が，セルジューク朝から自立(独立)した。

② バクトリアが，アケメネス朝から自立した。

③ トルコ＝イスラーム文化が，クシャーナ朝の時代に発展した。

④ 20 世紀に，ソ連軍の侵攻を受けた。

世界史B

B　次の文章は，『ローマ人盛衰原因論』という著作の，古代ローマを扱った部分を論じたものである。

『ローマ人盛衰原因論』の著者は，ローマ人の歴史を合理的な因果関係によって説明しようとする。彼によれば，ローマ隆盛の最大の理由は強力な軍隊であった。当初，軍隊は土地など一定の財産を持つ市民から構成され，彼らは祖国の防衛に高い関心があったからである。そして著者は，共和政自体を高く評価する。元老院，市民，役人が相互に各権力の濫用を抑制する体制だったからである。この評価は，彼の後の著作『法の精神』に通じる。

ローマの衰退の原因もまた，軍隊の性質の変化に求められた。共和政末期には，土地を持たない貧しい市民も軍隊に動員されるようになった。また軍隊の活動の場がイタリア半島の外に移ると，軍隊は国家自体ではなく，給与や恩賞を与えてくれる一部の将軍を支持し，カエサルに代表される特定の人物に権力が集中した。著者は，各権力を抑制する体制の崩壊につながったこの変化が衰退の一因であったと考えている。

軍隊自体は，アウグストゥスに始まる帝政の下でも強大であったが，その規律は低下し，維持費も国家の負担となった。そのような軍隊が皇帝の地位をも左右する力を持つようになったことで，軍人皇帝時代の混乱が生じた。ディオクレティアヌス以降は，軍隊の維持費のために重税が課されたため，政治を担っていた富裕層が弱体化した。同時に，軍隊に異民族が利用されるようになり，軍隊自体が弱体化したと論じる。

以上のような軍隊の性質の変化が，ローマの繁栄を支えた軍隊の弱体化につながり，結果として西ローマ帝国は4世紀後半以降の異民族の侵入に対処できなくなって滅亡したと，著者は結論づけている。歴史を論理的に説明しようとする著者の姿勢は，彼が生きていた時代に隆盛した思想潮流を反映している。

問 4 前の文章には，ローマで独裁官または皇帝となった複数の人物が出てくる。そのいずれかの人物の事績について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 25

① ガリアに遠征し，『ガリア戦記』を著した。
② セレウコス朝と結んだアントニウスに勝利した。
③ ローマ市民権を帝国内の全自由人に付与した。
④ ４人の正帝によって帝国を治める体制を敷いた。

問 5 前の文章では，ローマの衰退の原因が複数言及されている。そのいずれかの背景として推測される歴史上の出来事について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 26

① ポンペイウス，カエサル，レピドゥスが，協力して政治の実権を握った。
② 軍艦の漕ぎ手として参加した下層市民(無産市民)の発言力が高まった。
③ 帝国各地の軍隊が，独自の皇帝を擁立した。
④ 軍隊の維持費のため，農村に重税が課された。

問 6 前の文章を参考にしつつ，『ローマ人盛衰原因論』の著者について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 27

① この著者は，王権神授説を唱えた。
② この著者は，啓蒙思想家の一人に数えられている。
③ この著者は，「国際法の祖(国際法の父)」と呼ばれた。
④ この著者は，フランスの第三共和政を高く評価した。

世界史B

第5問 世界史上の人権侵害や差別について述べた次の文章**A**・**B**を読み，後の問い(**問1** ～ **6**)に答えよ。(配点　18)

A　ヨーロッパ研修旅行で，ドイツ南部のダッハウ強制収容所跡の展示施設を訪れた学生二人と教授とが会話をしている。

教　授：ここダッハウ収容所は，ナチ政権の成立と同年に開設され，この政権が終わる年まで稼働しました。この博物館の展示を基に，歴史的思考の実践をしてみましょう。

平　沢：今まで，強制収容所と言えばアウシュヴィッツのイメージしかありませんでした。しかし，ナチ強制収容所の歴史には大きく三つの段階があり，「労働を通じた矯正」，「労働を通じた殺戮(さつりく)」，「ガス殺などを通じた絶滅」の段階があったと知りました。

教　授：一般に流布したイメージの刷新も歴史的思考の一つですね。「労働を通じた矯正」という初期の段階の背景には，［ア］という法の成立があります。この法の制定をきっかけに，他の政党が排除されていき，［イ］が確立しました。これがダッハウ収容所設立と結び付くのです。「労働を通じた殺戮」の段階は，1938年3月のナチス＝ドイツの領域拡大の時期と一致します。

秋　山：次の最終段階では，スターリングラードの戦いで知られる東部での戦争が開始されると，労働のために大量の収容者が必要とされながらも，「ガス殺などを通じた絶滅」が実行されました。この矛盾した状況を，展示から理解できました。

平　沢：展示を見て知ったのは，「強制労働」とは，ⓐ移動の自由や職業選択の自由などの人権が制限された労働だと定義されているということです。

教　授：歴史的思考には，歴史上で培われてきた価値を理解し，現代に応用することも含まれます。この「強制労働」の定義を，世界史上の出来事にも応用して考えてみましょう。

問 1　文章中の空欄 ア と イ に入れる語の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 28

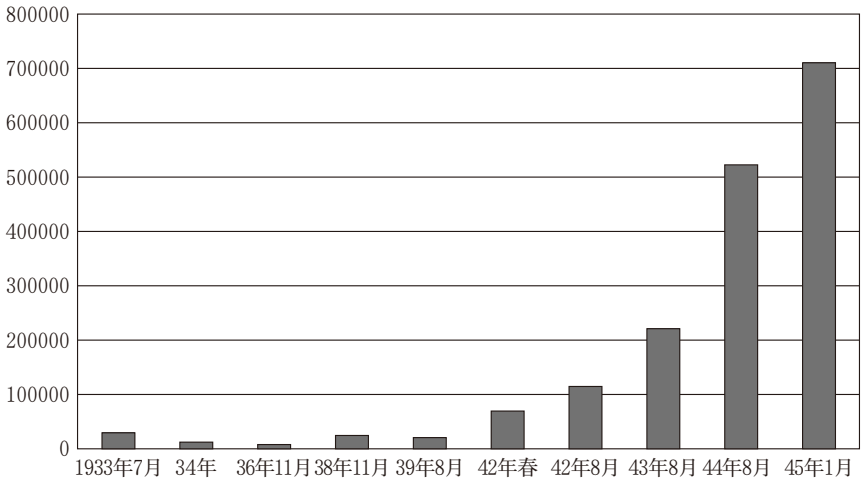
① ア ― 全権委任法　　イ ― 民主主義体制
② ア ― 全権委任法　　イ ― 独裁体制
③ ア ― 社会主義者鎮圧法　　イ ― 民主主義体制
④ ア ― 社会主義者鎮圧法　　イ ― 独裁体制

問 2　下線部ⓐに関連して，移動の自由や職業選択の自由を含む人権の歴史について述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 29

① 国際連盟に，国際労働機関が付置(付設)された。
② 日本で，基本的人権を尊重する憲法が公布された。
③ ドイツ民主共和国が建国された後，ベルリンの壁が構築された。
④ アパルトヘイト(人種隔離政策)が撤廃された後，南アフリカ共和国が成立した。

問 3　次の**グラフ**はナチ強制収容所に収容されていた人数を示したものである。研修旅行後に，学生が**グラフ**を基に**メモ**をまとめた。前の文章を参考にしつつ，**メモ**中の空欄［　ウ　］に入れる文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［30］

グラフ　ナチ強制収容所に収容されていた人数　　（単位：人）



(Wolfgang Benz und Barbara Distel(Hg.), *Der Ort des Terrors* より作成)

メ　モ

「ガス殺などを通じた絶滅」の段階は，巨大な収容所が本格的に稼働した時期と一致し，大量死が生じた。この時期について**グラフ**から分かるのは，［　ウ　］ことである。**グラフ**上の数値の背後には多くの死があり，そこまで思考すれば，ホロコーストが激化した歴史をより深く理解できるだろう。

① オーストリア併合時，「絶滅」段階に至ったにもかかわらず，収容されていた人数は増加した
② オーストリア併合時，「絶滅」段階に至ったので，収容されていた人数は減少した
③ 独ソ戦の開戦後，「絶滅」段階に至ったにもかかわらず，収容されていた人数は増加した
④ 独ソ戦の開戦後，「絶滅」段階に至ったので，収容されていた人数は減少した

B あるクラスで，次の**図**を用いてアメリカ合衆国の歴史についての授業が行われている。

先　生：この**図**は，「ウッド将軍がキューバで不人気だとしたら，その理由が分かる」という題の，アメリカ合衆国の新聞に掲載された風刺画です。ウッド将軍は，風刺画の中で帽子をかぶった男性として描かれています。［　エ　］をきっかけにアメリカ合衆国はキューバを保護国化しましたが，ウッドは戦後にキューバの軍政長官を務めました。

図



殺菌剤
洗剤
石けん
消毒剤(猛毒)

鈴　木：子どもの物らしい帽子にキューバとあるので，この子どもはキューバを象徴しているんですね。なぜ子どもを入浴させているのでしょうか。

先　生：入浴は，アメリカ合衆国の文明を象徴していると考えられます。ウッド将軍は，キューバに自分たちの文明を広げようとしているのです。海外に植民地を獲得する対外政策を採っていた［　オ　］の時期のヨーロッパ諸国にも，自分たちの生活習慣を植民地の人々に教育した例があります。当時の欧米諸国には，［　カ　］義務があるという考えがありました。

鈴　木：並んでいる薬品を見ると，人間を入浴させているというよりも，物を消毒か洗濯しているようですね。

佐々木：このような薬品を使ったのかどうかは分かりませんが，子どもが涙を流しているので，入浴を嫌がっているのですよね。なぜ嫌がっている子どもを入浴させているのでしょうか。

先　生：いいところに気が付きましたね。ウッドのように自分たちの文明を広げようとする人々は，しばしば受け取り手の人権を考慮せず，また彼らの反応にも無頓着でした。

鈴　木：では，この風刺画の作者は，キューバ人に同情してウッドを批判したのでしょうか。

先　生：必ずしもそうとは言えません。むしろこの風刺画は，ⓑ他の人種・民族には自分たちの文明を受容する能力がないと考え，キューバを文明化しようとするウッド将軍を嘲笑していたのです。

佐々木：自分たちの文明をキューバ人に押し付けようとしたウッドも，その努力を無駄なことと嘲笑した人たちも，人種差別的な考えを持っていたのですね。

問 4　文章中の空欄 **エ** の戦争後の，ラテンアメリカにおけるアメリカ合衆国の影響拡大について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 31

① パナマに運河を開通させた。
② メキシコからカリフォルニアを獲得した。
③ プエルトリコを独立させた。
④ 相互の勢力圏を定める条約をポルトガルと締結した。

問 5　文章中の空欄［ オ ］に入れる語**あ・い**と，空欄［ カ ］に入れる語句**X**・**Y**との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 32 ］

［ オ ］に入れる語

あ　帝国主義　　**い**　孤立主義

［ カ ］に入れる語句

X　植民地を経済的に自立させる

Y　植民地を文明化する

① **あ** ― **X**　② **あ** ― **Y**

③ **い** ― **X**　④ **い** ― **Y**

問 6　下線部ⓑに関連して，アメリカ合衆国における差別やその解消について述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 33 ］

① 19 世紀後半に流入数が増加した東欧や南欧からの移民は，既にヨーロッパから移住していた人々からの差別に直面した。

② 19 世紀後半に流入したアジア系移民に対し，移民の制限(排斥)を求める動きが広がった。

③ 強制移住法により，先住民はミシシッピ川以西に追放された。

④ 南北戦争後に奴隷制が廃止されたことにより，20 世紀初頭には南部でも黒人は法的な平等を獲得した。